

平成 27 年度
地域コミュニティ活性化モデル事業
アンケート調査報告書

平成 28 年 3 月 23 日版

平成 28 年 3 月

四国中央市 市民環境部 市民交流課

目 次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査の目的	1
(2) アンケートの実施方法	1
(3) 回収率	1
2. 調査結果.....	2
質問項目	
Q 1. あなたの性別を教えてください.....	2
Q 2. あなたの年代を教えてください.....	2
Q 3. お住まいの地域で多様な団体等が集まって地域コミュニティの活性化を目指すコミュニティ協議会が結成されていることをご存知でしたか.....	3
Q 4. お住まいの地域が地域コミュニティ活性化事業に取り組んでいることをご存知でしたか.....	3
Q 4-1. (Q 4で「はい」と答えた方のみ) 地域コミュニティ活性化事業に取り組んでいることをどのようにして知りましたか.....	4
Q 5. 地域コミュニティ活性化事業についてどう思いますか.....	6
Q 6. 昨年度、地域コミュニティ活性化事業の住民集会に参加されましたか.....	7
Q 6-1. (Q 6で「参加した」答えた方のみ) と回答した昨年度、地域コミュニティ活性化事業の住民集会に参加されましたか.....	8
Q 7. 地域コミュニティ活性化事業に参加されましたか.....	9
Q 7-1. (Q 6で「参加した」と答えた方のみ) どの事業に参加しましたか.....	10
Q 7-2. (Q 6で「事業は知っていたが参加していない」と答えた方のみ) 事業は知っていたが参加していない理由は何ですか.....	11
Q 8. (Q 6で「参加した」と答えた方のみ) 地域コミュニティ活性化事業に参加されていたかがでしたか.....	13

Q 9. あなたの世帯は自治会に加入していますか.....	15
Q 10. 自治会などの地縁組織は、以前と比べるとどのように変化していますか.....	16
Q 11. 地域内での住民同士のつながりは必要と考えますか.....	17
Q 12. どのような地域活動なら参加しても良いと考えますか	18
Q 13. 地域の課題（地域高齢者対策、防犯灯整備、子どもの見守りなど）はどのように解決すべきと考えますか。	20
Q 14. 今後、少子高齢化が進展する中で地域のコミュニティが担う役割についてどう思いますか	21
Q. アンケートについてのご意見や、今後地域コミュニティ活性化事業に望むことがあれば、お書きください.....	22
川滝地区における主な意見.....	22
豊岡地区における主な意見.....	24
蕪崎地区における主な意見.....	27

1. 調査概要

(1) 調査の目的

市では、平成25年6月に策定した「四国中央市地域コミュニティ基本計画」に基づいて、公民館単位の地区ごとの住民がそれぞれの地域が抱える課題について、住民自ら解決に向けての方法を考え、行動することにより地域課題の解決や住民同士の絆の再生、そして地域力の強化を図る地域コミュニティ活性化事業を開始した。

平成26年度に川滝、豊岡、蕪崎の公民館区域をモデル地区に選定し、活動組織である地区コミュニティ協議会の設立にはじまり、住民集会の開催や地区コミュニティ計画などを策定した。平成27年度はその計画に基づいて具体的な事業が実施されているが、今後の事業の展開等を検討するための基礎的な資料とするために、モデル地区の住民を対象としたアンケート調査を実施した。

(2) アンケートの実施方法

- ①調査対象者：18歳以上の市民
- ②抽出方法：無作為抽出（同じ世帯は除く）
- ③配布及び回収：郵送配布、郵送回収
- ④実施期間：平成28年2月8日（月）～29日（月）

(3) 回収率

地区名	発送数	回収数	回収率
川滝地区	430	140	32.56%
豊岡地区	525	131	24.95%
蕪崎地区	337	127	37.69%
合計	1,292	398	30.8%

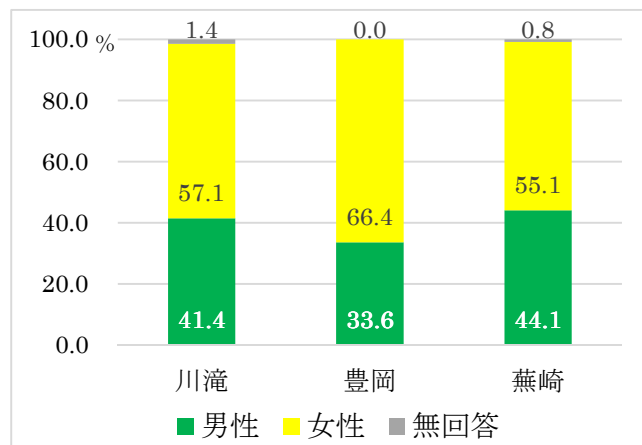
※発送数は統計法に基づき算出

2. 調査結果

Q1. あなたの性別を教えてください

発送総数 1,292 通に対して、3 地区合計の回答数は 398 通で回収率は 30.8%でした。回答者の男女の割合は、男性が約 4 割、女性が約 6 割となっています。

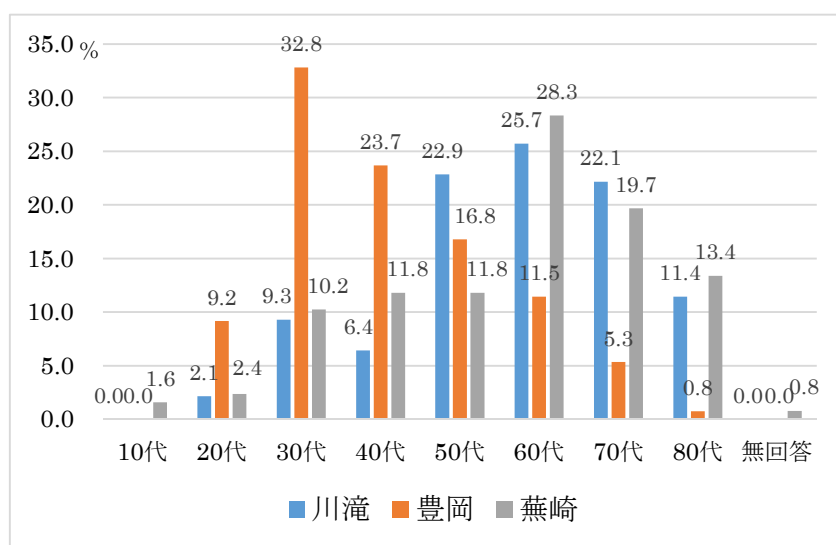
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
男性	58	44	56	158
女性	80	87	70	237
無回答	2	0	1	3
合計	140	131	127	398



Q2. あなたの年代を教えてください

川滝及び蕪崎地区は、60 代の回答者が一番多く、その 60 代を頂点として山型に傾斜しています。しかし豊岡地区のみが、30 代が一番多く、その次が 40 代、50 代となっています。

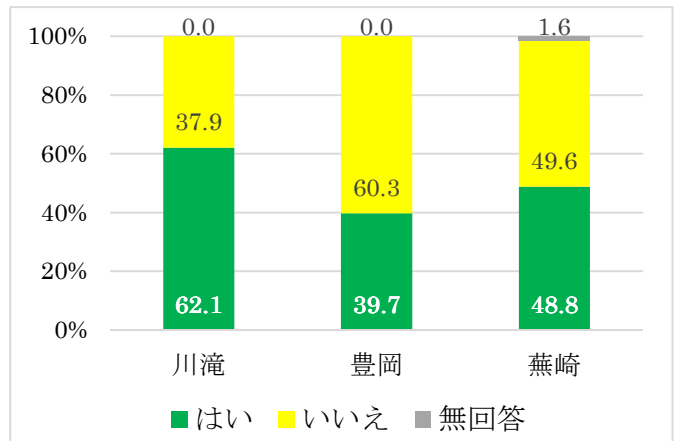
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
10代	0	0	2	2
20代	3	12	3	18
30代	13	43	13	69
40代	9	31	15	55
50代	32	22	15	69
60代	36	15	36	87
70代	31	7	25	63
80代	16	1	17	34
無回答	0	0	1	1
合計	140	131	127	398



Q 3. お住まいの地域で多様な団体等が集まって地域コミュニティの活性化を目指すコミュニティ協議会が結成されていることをご存知でしたか

川滝地区における協議会の認知度が一番高く 6 割を超えています。続いて蕪崎地区が約 5 割、豊岡地区が約 4 割となっています。川滝地区は、花いっぱい運動としてコミュニティ協議会のシールを貼ったプランターに花を植えて、全戸に配布する P R 事業を行った成果が現れていると思われます。

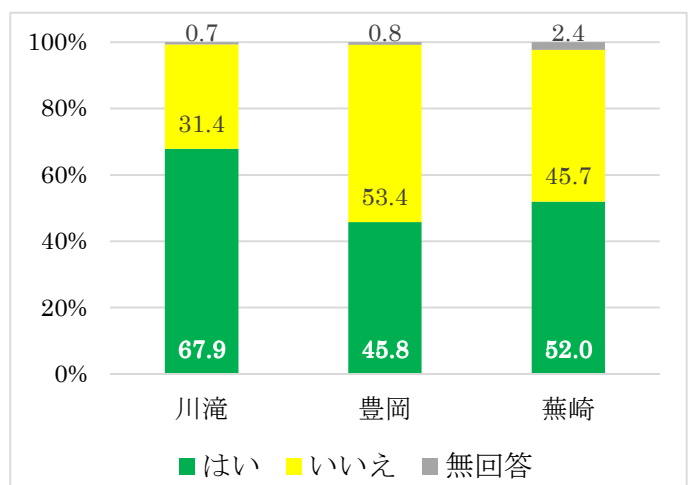
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
はい	87	52	62	201
いいえ	53	79	63	195
無回答	0	0	2	2
合計	140	131	127	398



Q 4. お住まいの地域が地域コミュニティ活性化事業に取り組んでいることをご存知でしたか

Q 3 の協議会の認知度と同様に、事業の認知度においても川滝地区が一番高く、約 7 割となっています。しかし、豊岡及び蕪崎地区においても、協議会の認知度よりも事業の認知度が高く、4%から 6%程度高くなっています。

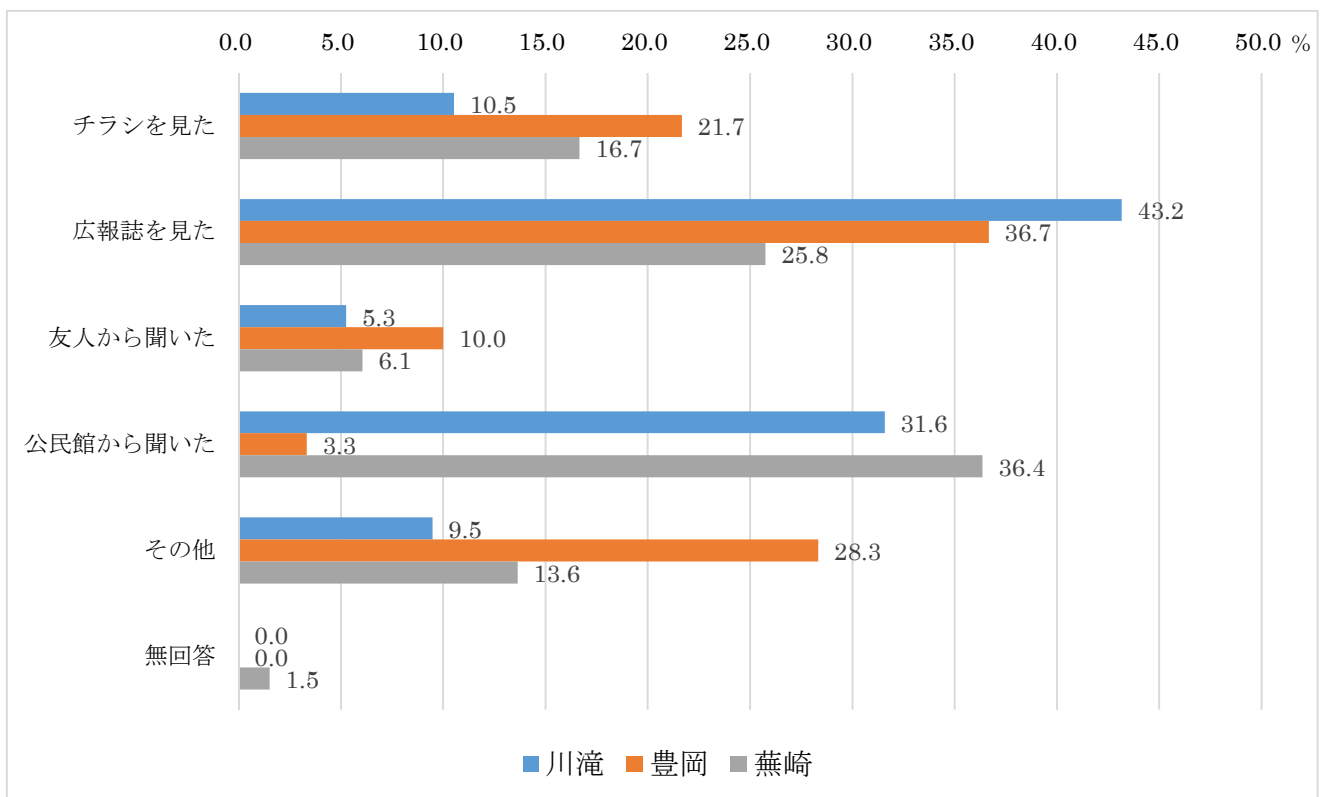
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
はい	95	60	66	221
いいえ	44	70	58	172
無回答	1	1	3	5
合計	140	131	127	398



Q4-1. (Q4で「はい」と答えた方のみ) 地域コミュニティ活性化事業に取り組んでいることをどのようにして知りましたか

川滝及び豊岡地区においては、「広報誌で事業を知った」と回答した人が一番多く、蕪崎地区では「公民館から聞いた」と回答した人が一番多い状況でした。また豊岡地区では「公民館から聞いた」と回答した人が少ない一方で、「チラシを見た」と回答した人が多いほか、その他意見において「学校から聞いた（プリント配布を含めて）」という意見が多くありました。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
チラシを見た	10	13	11	34
広報誌を見た	41	22	17	80
友人から聞いた	5	6	4	15
公民館から聞いた	30	2	24	56
その他	9	17	9	35
無回答	0	0	1	1
合計	95	60	66	221



(「その他」の回答は次ページに記載)

川滝地区における「その他」意見（抜粋）

- 活動に関わった
- コスモス TV で見た
- コミュニティ協議会に参加していた
- 「花いっぱい事業」でプランターに花を植えたので（声をかけられ近所の人と一緒に）
- プランターのステッカーを見て家族に聞く

豊岡地区における「その他」意見（抜粋）

- 職場で聞いた
- 公民館に集まった時に聞いた
- 母から聞いた
- 学校の会で聞いた
- 担当職員から聞いた
- 地区役員から聞いた
- コスモステレビで見た
- 地域の子供から聞いた
- 学校からのプリントで見た
- 何となく耳にした

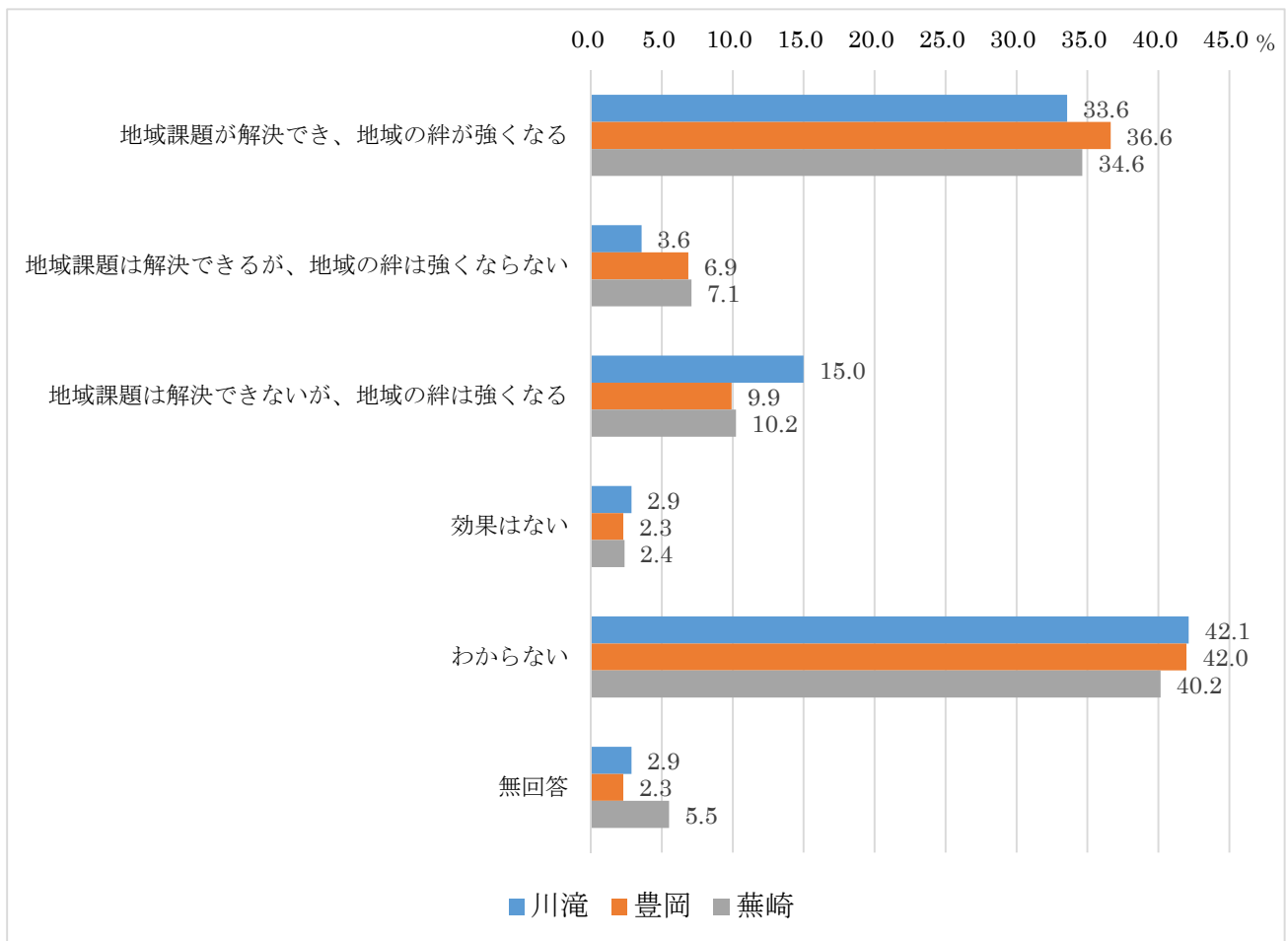
蕪崎地区における「その他」意見（抜粋）

- 父親が参加しているから
- 家族から聞いた
- 子供から聞いた
- ケーブルテレビで見た
- 運営委員会に入っている

Q5. 地域コミュニティ活性化事業についてどう思いますか

地域コミュニティ活性化事業の効果について、3地区ともに「わからない」と答えた人が一番多くなっています。次に事業の狙いである「地域課題が解決でき、地域の絆が強くなる」と回答した人が多く、各地区ともに約35%の回答でした。川滝地区においては、「地域課題は解決できないが、地域の絆は強くなる」との回答が、他の地区よりも5%程度上回る結果でした。

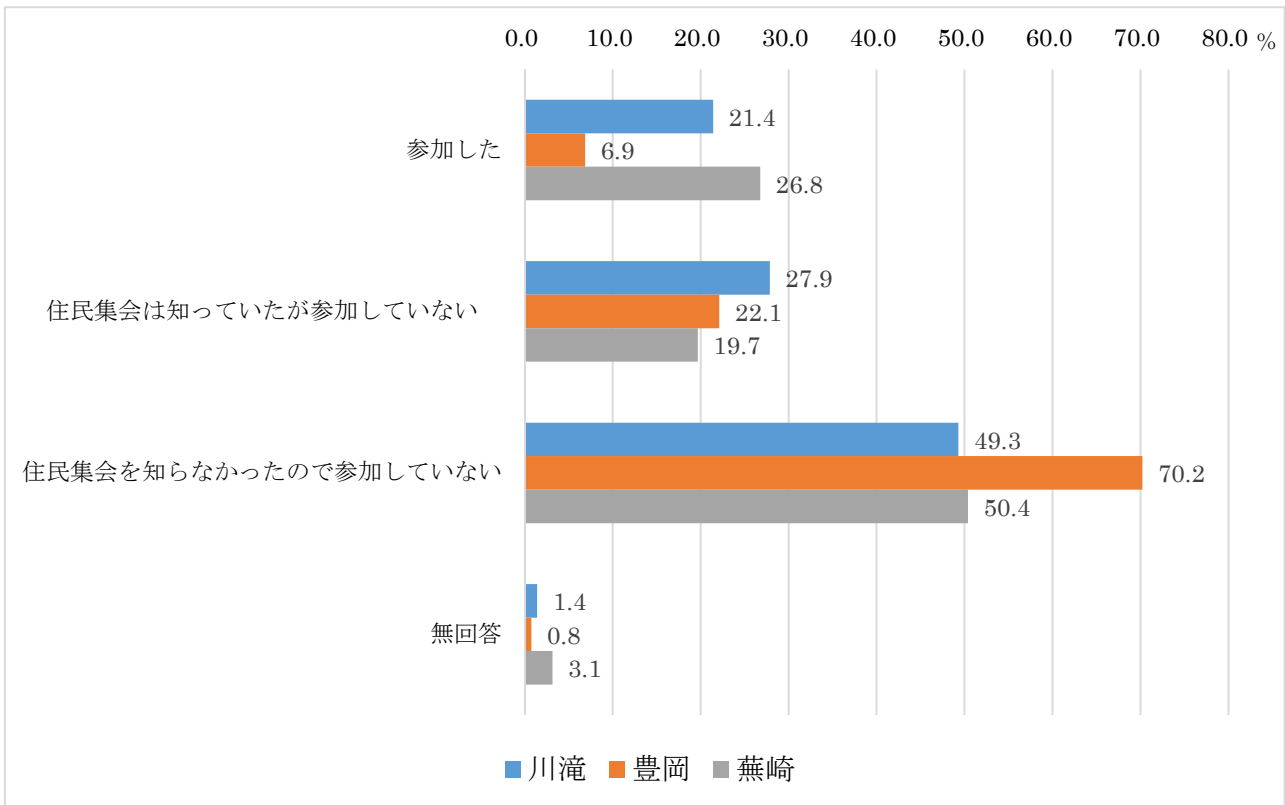
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
地域課題が解決でき、地域の絆が強くなる	47	48	44	139
地域課題は解決できるが、地域の絆は強くない	5	9	9	23
地域課題は解決できないが、地域の絆は強くなる	21	13	13	47
効果はない	4	3	3	10
わからない	59	55	51	165
無回答	4	3	7	14
合計	140	131	127	398



Q 6. 昨年度、地域コミュニティ活性化事業の住民集会に参加されましたか

川滝及び蕪崎地区においては、「住民集会に参加した」と回答した人が2割強、「住民集会を知らなかったので参加していない」と回答した人が約5割の状況でした。豊岡地区においては、「住民集会に参加した」と回答した人が約7%、「住民集会を知らなかったので参加していない」と回答した人が約7割でした。

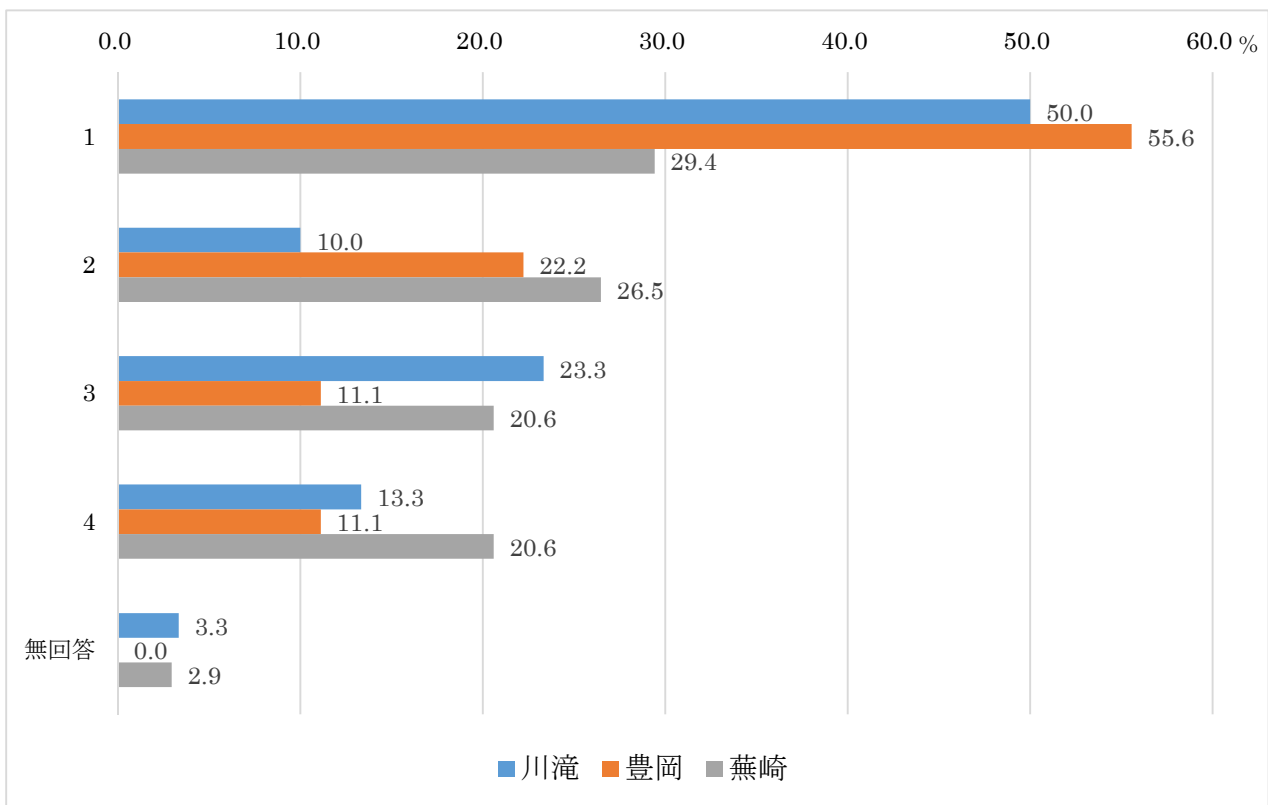
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
参加した	30	9	34	73
住民集会は知っていたが参加していない	39	29	25	93
住民集会を知らなかったので参加していない	69	92	64	225
無回答	2	1	4	7
合計	140	131	127	398



Q6-1. (Q6で「参加した」答えた方のみ) と回答した昨年度、地域コミュニティ活性化事業の住民集会に参加されましたか

川滝及び蕪崎地区で住民集会に参加したと答えた人は、約30名に対し、豊岡地区は9名の中で、住民集会に参加した回数の割合は、川滝及び豊岡地区の約半数の人が1回のみと回答しています。

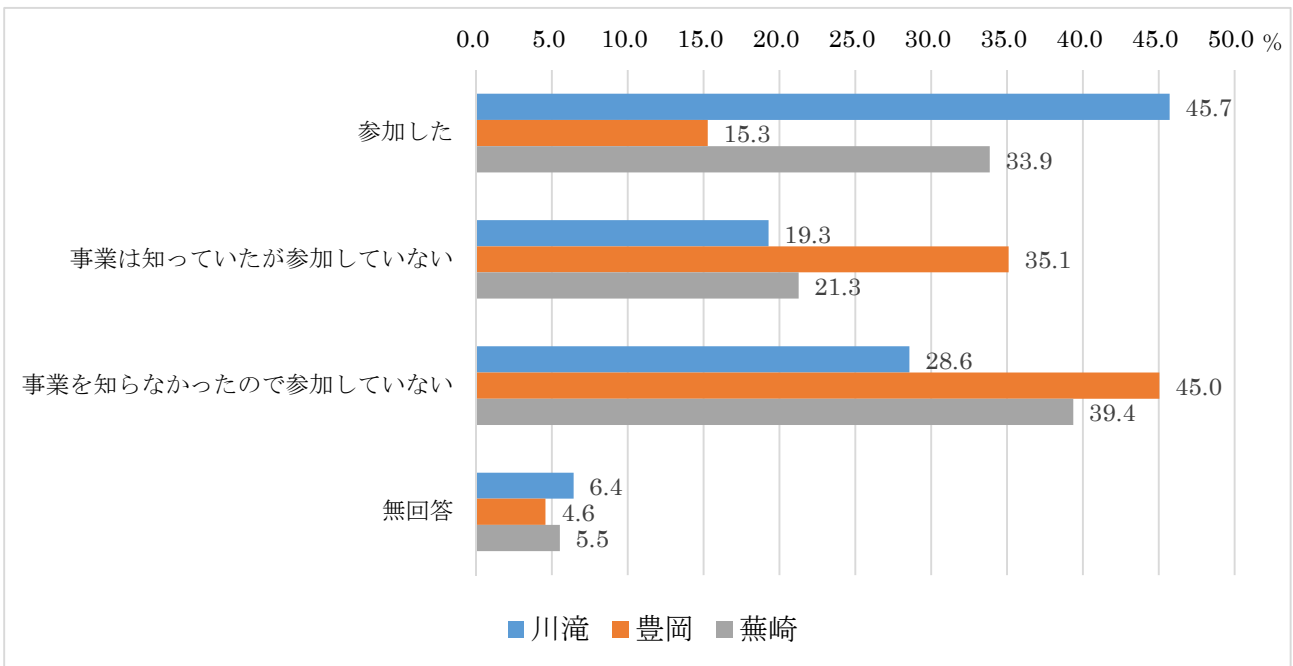
参加回数	川滝	豊岡	蕪崎	合計
1	15	5	10	30
2	3	2	9	14
3	7	1	7	15
4	4	1	7	12
無回答	1	0	1	2
合計	30	9	34	73



Q 7. 地域コミュニティ活性化事業に参加されましたか

「事業に参加した」と回答した人は、川滝地区が約半数、豊岡地区が約 15%、蕪崎地区が 34% の状況でした。豊岡地区では、「事業を知っていたが参加していない」と答えた人が他の地区よりも多く、35% となっています。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
参加した	64	20	43	127
事業は知っていたが参加していない	27	46	27	100
事業を知らなかったので参加していない	40	59	50	149
無回答	9	6	7	22
合計	140	131	127	398



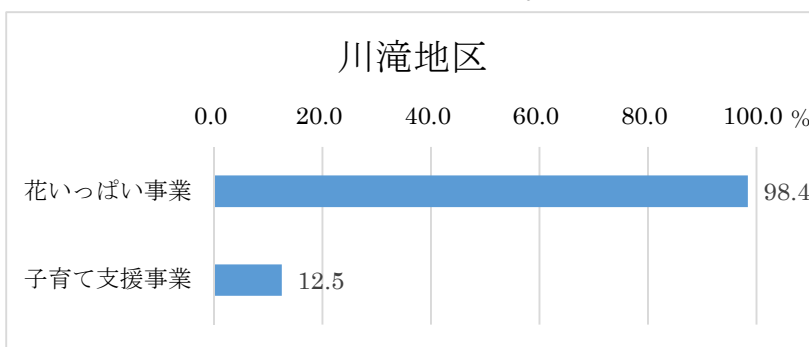
Q7-1. (Q6で「参加した」と答えた方のみ) どの事業に参加しましたか

【川滝地区】

事業に参加した64名のうち63名(98.4%)が花いっぱい事業に参加しています。参加者の年代が限られる子育て支援事業への参加は8名(12.5%)でした。

選択肢	回答数
花いっぱい事業	63
子育て支援事業	8
合計	71

※複数回答



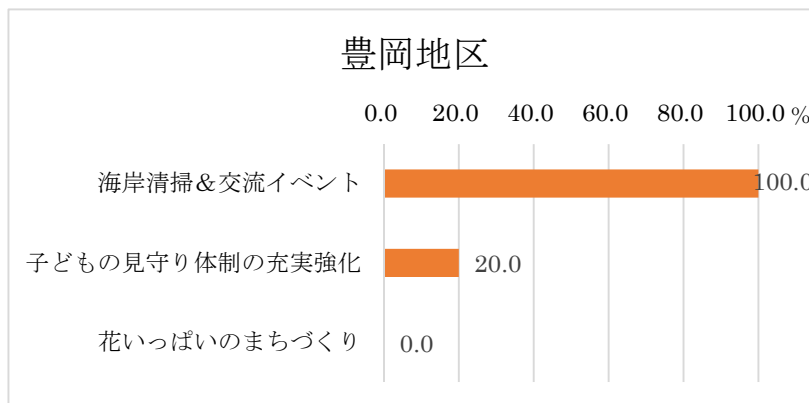
Q6で「事業に参加した」と答えた64名の事業別参加割合

【豊岡地区】

事業に参加した20名全てが海岸清掃&交流イベントに参加しています。子どもの見守り充実強化は4名(20%)で、花いっぱいのまちづくりへ参加したとの回答はありませんでした。

選択肢	回答数
海岸清掃&交流イベント	20
子どもの見守り体制の充実強化	4
花いっぱいのまちづくり	0
合計	24

※複数回答



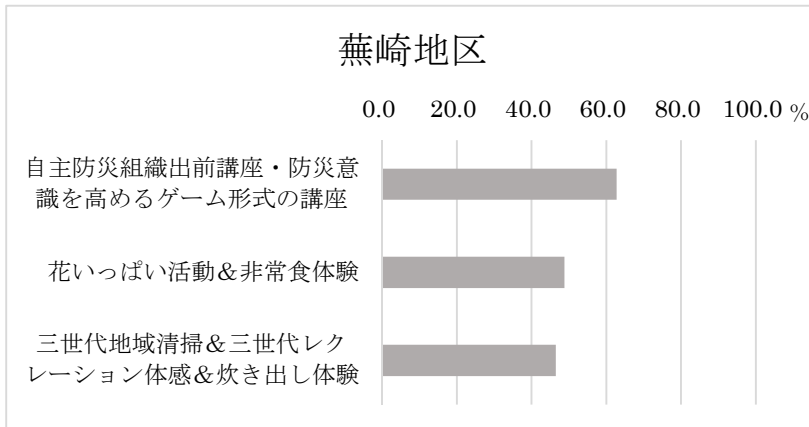
Q6で「事業に参加した」と答えた20名の事業別参加割合

【蕪崎地区】

事業に参加した43名のうち、それぞれの事業に約半数の人が参加しています。

選択肢	回答数
自主防災組織出前講座・防災意識を高めるゲーム形式の講座	27
花いっぱい活動&非常食体験	21
三世代地域清掃&三世代レクレーション体感&炊き出し体験	20

※複数回答

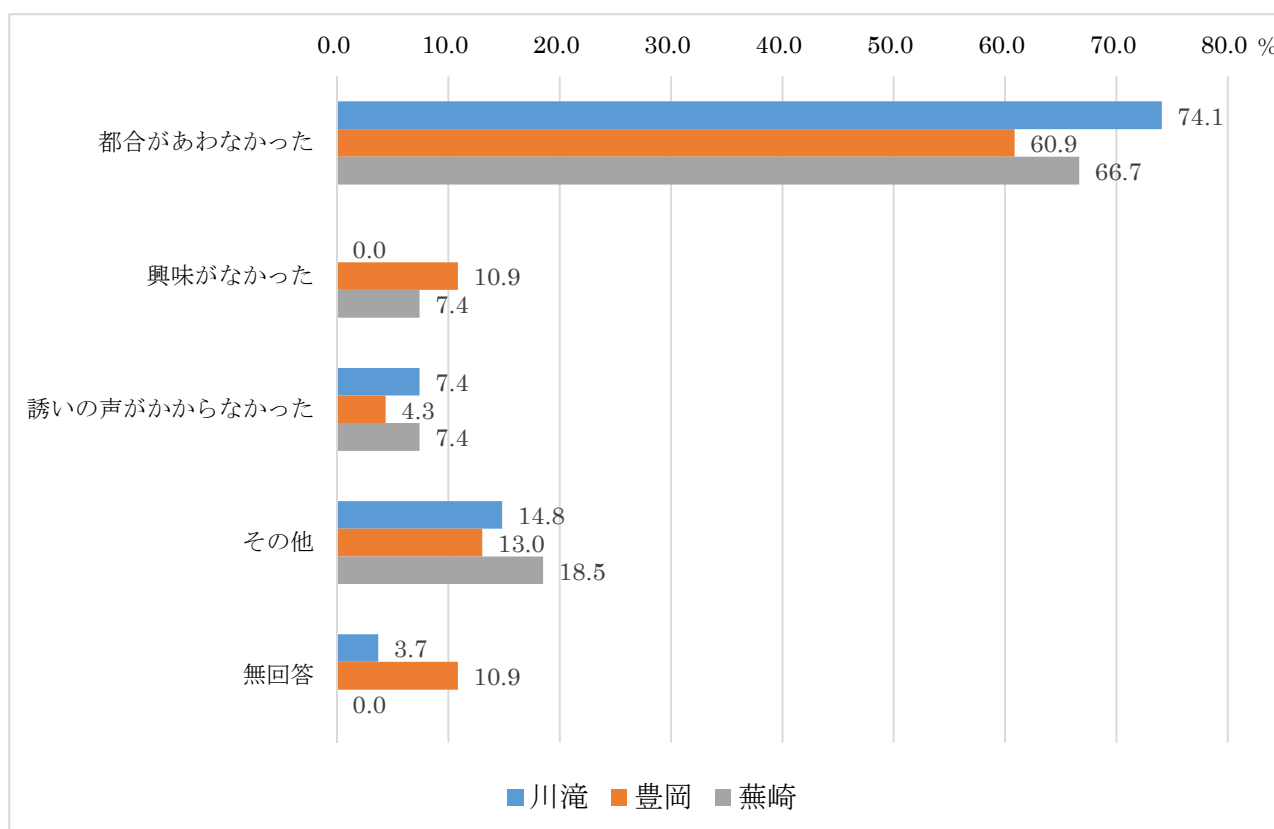


Q6で「事業に参加した」と答えた43名の事業別参加割合

Q7-2. (Q6で「事業は知っていたが参加していない」と答えた方のみ) 事業は知っていたが参加していない理由は何ですか

事業は知っていたが参加できなかったと答えた人の6割から7割の人が、都合があわなかったと回答しています。その他の意見としては、「他の家族が参加しているから」、「体の調子が悪いため」、「高齢であるため」などの意見とともに、「興味はあったが内輪の集まりのような気がして自分ひとりで参加するのは気が引けたから」という意見もありました。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
都合があわなかった	20	28	18	66
興味がなかった	0	5	2	7
誘いの声がかからなかった	2	2	2	6
その他	4	6	5	15
無回答	1	5	0	6
合計	27	46	27	100



(「その他」の回答は次ページに記載)

川滝地区における「その他」意見（抜粋）

- 他の家族が参加したので控えた
- 妻が花いっぱい運動に参加
- 身体の都合

豊岡地区における「その他」意見（抜粋）

- 主人が参加
- 海岸は、たまに散歩に行くので清掃活動に興味はあったが内輪の集まりのような気がして自分ひとりで参加するのは気が引けたから
- 個人でゴミ拾い掃除などしているから行かなかった（団地の道、公園等の周辺を月1回）
- 子供が小さくて参加できない
- 家族に介護のいる老人がいるため
- 仕事が忙しく忘れていたため
- 海岸清掃以外の事業は知らなかった

蕪崎地区における「その他」意見（抜粋）

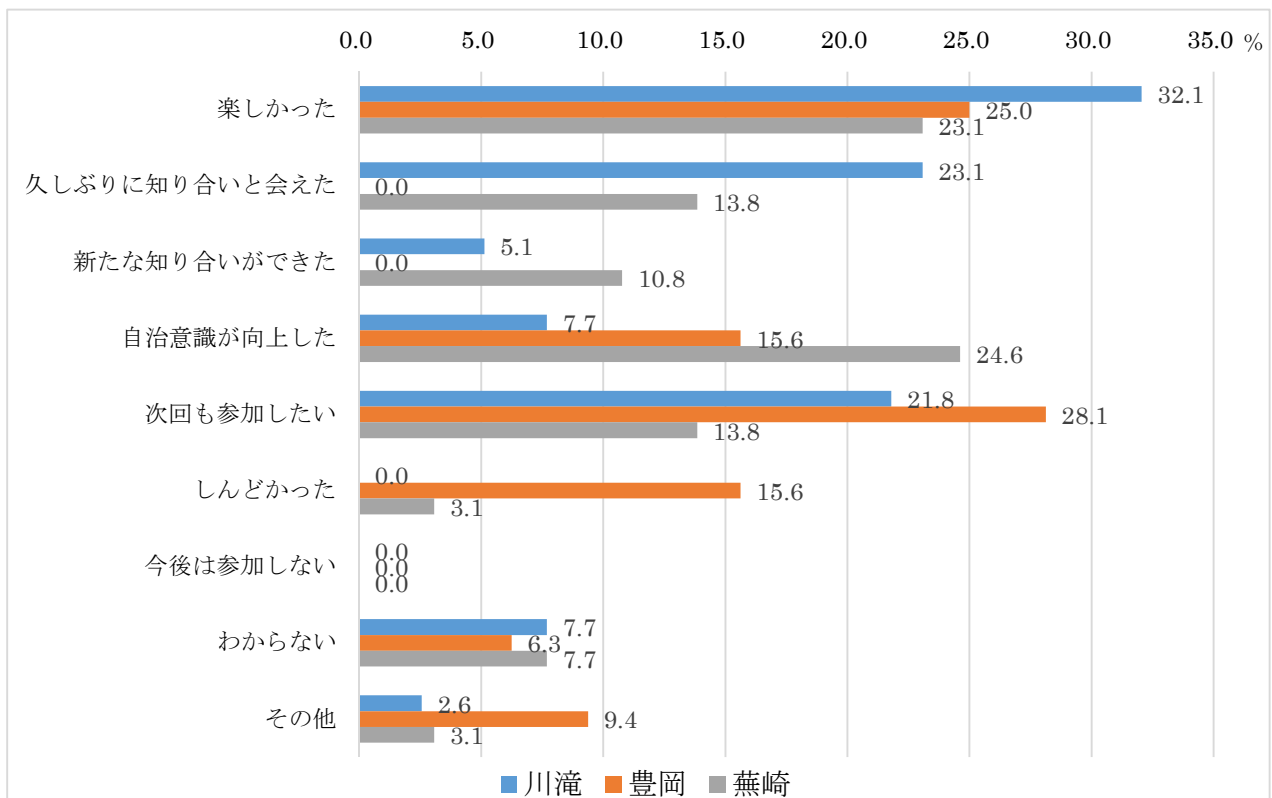
- 身体の調子が悪かったので
- 高齢者で出るのがつらい
- 体調が悪いから参加できない

Q 8. (Q 6で「参加した」と答えた方のみ) 地域コミュニティ活性化事業に参加されていたかがでしたか

(複数回答可)

事業に参加した感想は、3地区ともに肯定的な意見が多く、「今後は参加しない」と答えた人はいませんでした。特徴的なものは、川滝及び蕪崎地区では、「久しぶりに知り合いに会えた」との回答があった一方で、豊岡地区ではその回答がなく、事業が「しんどかった」と答えた人が多くいました。しかし、事業に「次回も参加したい」と答えた人の割合は豊岡地区が一番多くなっています。これらは大規模清掃を熱心に取り組んだ現われではないかと推測されます。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
楽しかった	25	8	15	48
久しぶりに知り合いと会えた	18	0	9	27
新たな知り合いができた	4	0	7	11
自治意識が向上した	6	5	16	27
次回も参加したい	17	9	9	35
しんどかった	0	5	2	7
今後は参加しない	0	0	0	0
わからない	6	2	5	13
その他	2	3	2	7
合計	78	32	65	175



(「その他」の回答は次ページに記載)

川滝地区における「その他」意見（抜粋）

- 体が不自由のため
- 花いっぱいには参加したが、活性化には効果ないと思う

豊岡地区における「その他」意見（抜粋）

- 地域全般へのPR不足が感じられる
- 頑張っている方と腕組んで話ばかりされている方の差が激しすぎる
- 18歳の孫が参加しました。今後も出来るだけ参加します

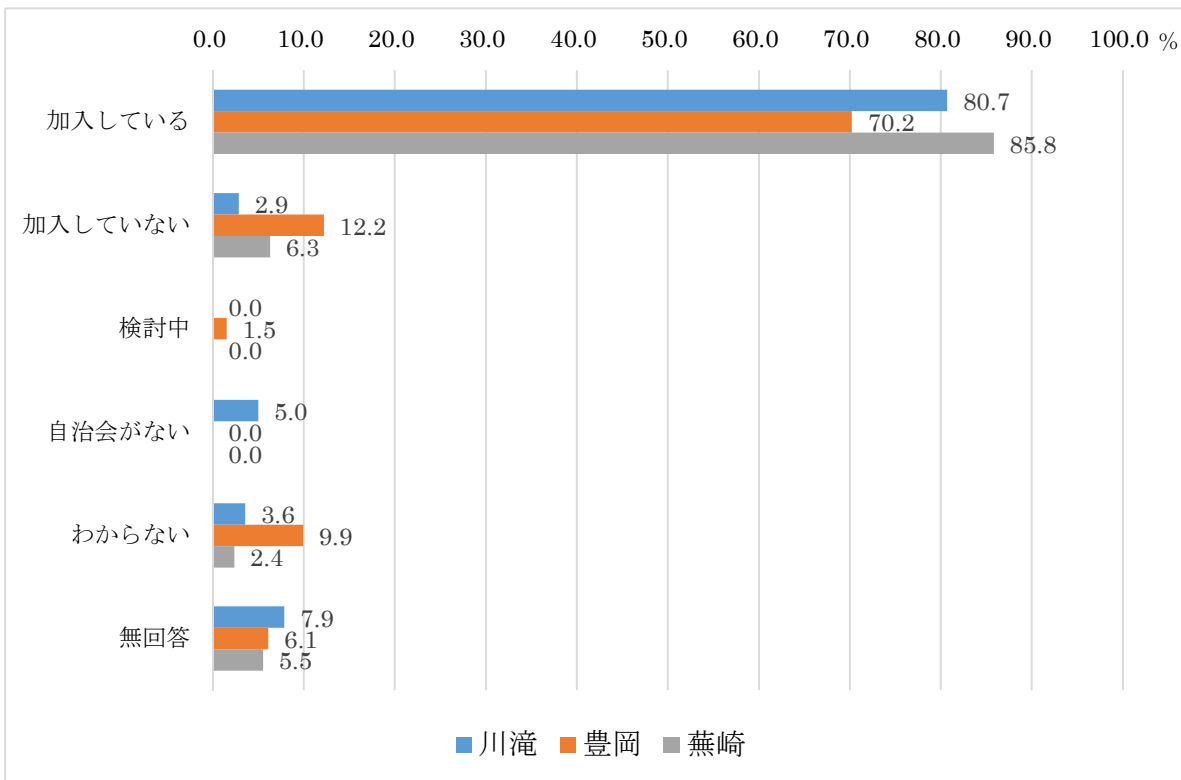
蕪崎地区における「その他」意見（抜粋）

- プラスマイナス両方あり
- 事業が単発的で地域に広く浸透していない。内容、詳しく知らされていない

Q9. あなたの世帯は自治会に加入していますか

自治会への加入は、約7割から約8割の方が加入している状況です。「自治会がない」「わからない」「無回答」の回答を除けば、その加入率は川滝地区が96.6%、豊岡地区が83.6%、蕪崎地区が93.2%となります。

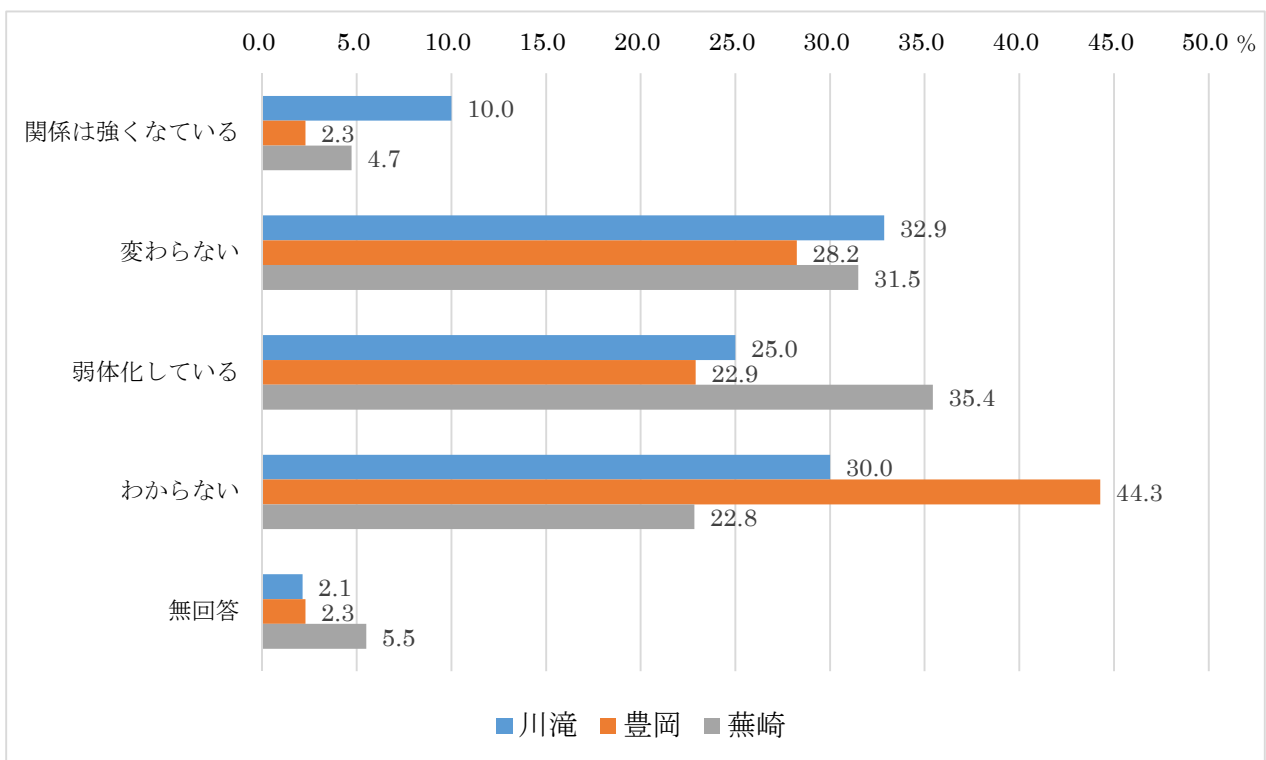
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
加入している	113	92	109	314
加入していない	4	16	8	28
検討中	0	2	0	2
自治会がない	7	0	0	7
わからない	5	13	3	21
無回答	11	8	7	26
合計	140	131	127	398



Q10. 自治会などの地縁組織は、以前と比べるとどのように変化していますか

自治会などの地縁組織の関係について、川滝地区は「変わらない」と答えた人が32.9%と一番多い一方で、「関係は強くなっている」と答えた人が10%にのぼっています。蕪崎地区は「弱体化している」と回答した人が35%で一番多く、豊岡地区は「わからない」と回答した人が44.3%と一番多くなっています。

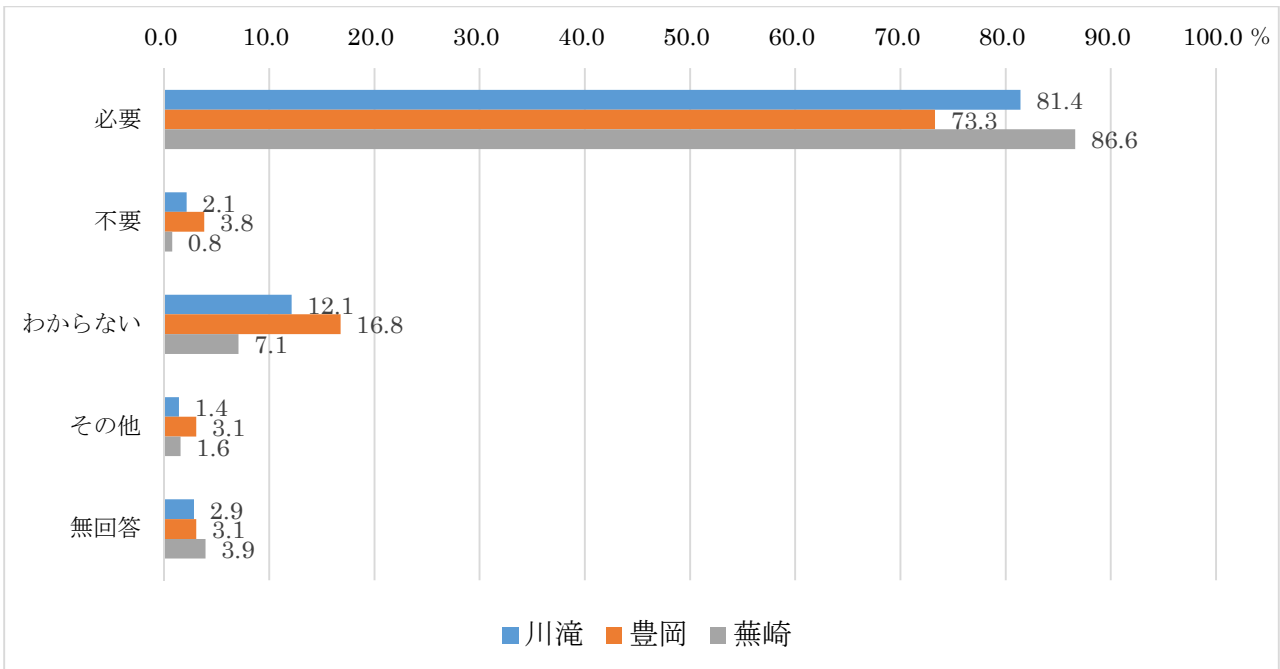
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
関係は強くなっている	14	3	6	23
変わらない	46	37	40	123
弱体化している	35	30	45	110
わからない	42	58	29	129
無回答	3	3	7	13
合計	140	131	127	398



Q 1 1. 地域内での住民同士のつながりは必要と考えますか

3地区ともに住民同志のつながりは「必要」と答えた方が圧倒的に多くありました。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
必要	114	96	110	320
不要	3	5	1	9
わからない	17	22	9	48
その他	2	4	2	8
無回答	4	4	5	13
合計	140	131	127	398



川滝地区における「その他」意見（抜粋）

- 余裕なし

豊岡地区における「その他」意見（抜粋）

- 負担にならない程度
- ケースバイケース

蕪崎地区における「その他」意見（抜粋）

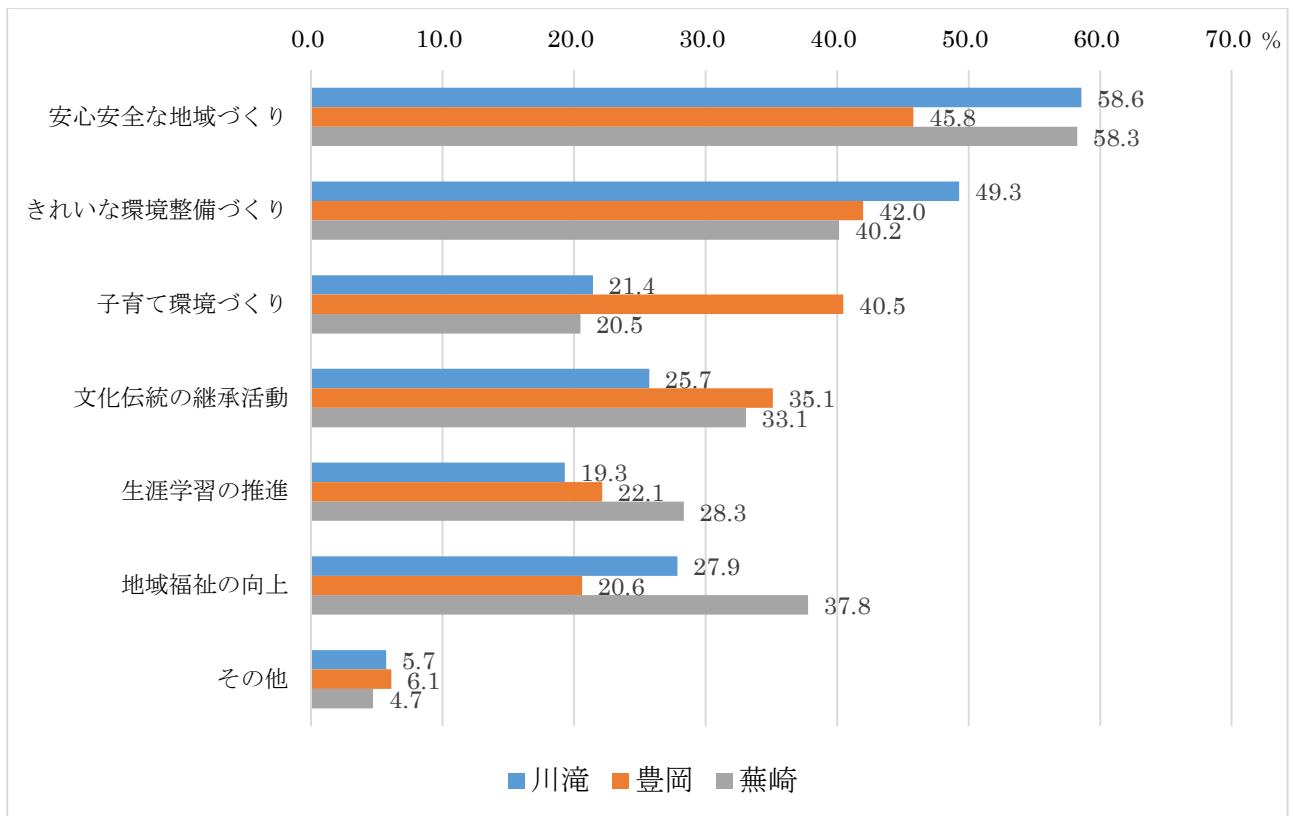
- つながりがある方が良いとは思いますが、蕪崎地区は地域にとけこみにくい
- 難しいところであるが、必要だとは思う

Q12. どのような地域活動なら参加しても良いと考えますか

(複数回答可)

川滝及び蕪崎地区においては、「安心安全な地域づくり」への参加意向が半数を超えています。豊岡地区においては、「子育て環境づくり」への参加意向が他の地区の2倍という状況です。これは、豊岡地区における回答者の割合が、30代が一番高かったことが影響しているものと推測しています。また、蕪崎地区においては、「地域福祉の向上」が他の地区より突出して多くなっています。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
安心安全な地域づくり	82	60	74	216
きれいな環境整備づくり	69	55	51	175
子育て環境づくり	30	53	26	109
文化伝統の継承活動	36	46	42	124
生涯学習の推進	27	29	36	92
地域福祉の向上	39	27	48	114
その他	8	8	6	22
合計	291	278	283	852



川滝地区における「その他」意見（抜粋）

- わからない
- 川滝で買い物がしたい（買い物難民対策）
- 趣味の会
- 身体の都合の為、参加できない

豊岡地区における「その他」意見（抜粋）

- 特に参加したい事が無いです
- 参加なし
- 不規則な仕事のため、参加したくても出来ない。
- 地域が密になる事業
- 犬猫の殺処分を廃止する活動
- 少しの時間で長く続けられるもの

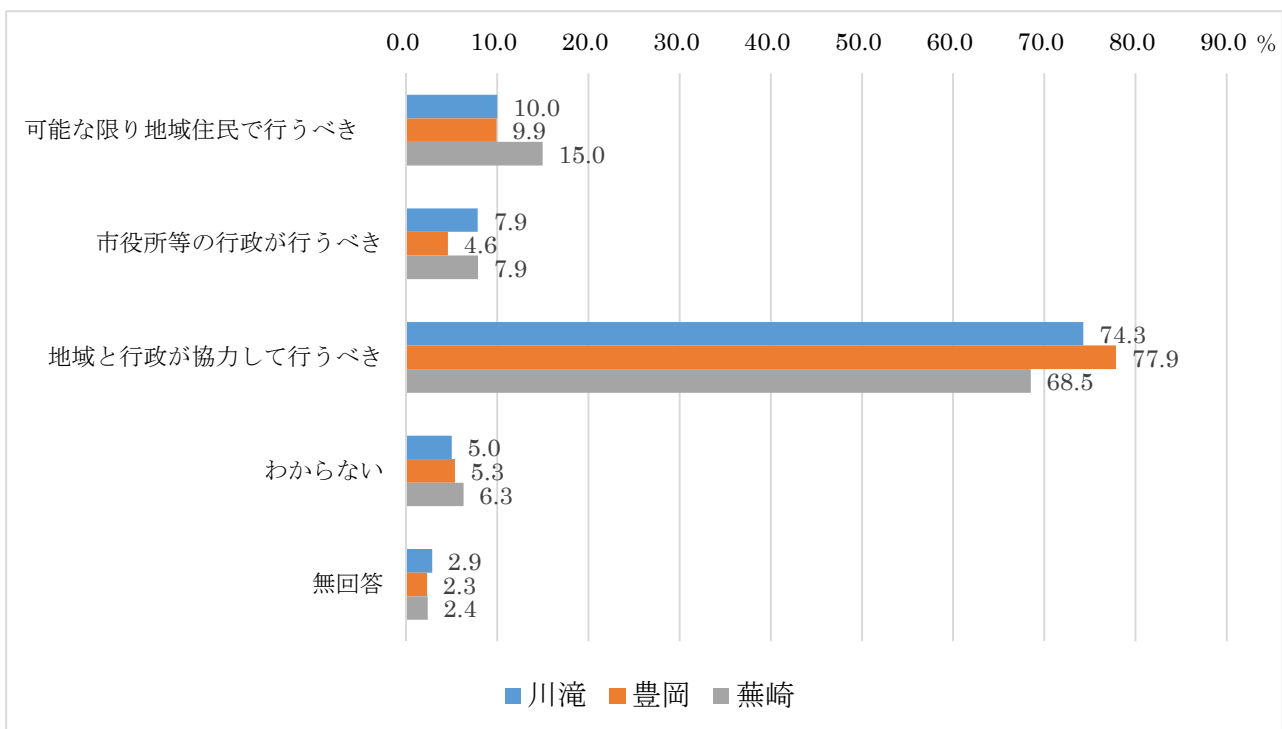
蕪崎地区における「その他」意見（抜粋）

- 地域の都市計画、協議活動
- 食育、健康に関する勉強会とか犬猫のしつけ、飼い方勉強。交流会マナーについて、糞の後始末など
- 本来いる住民の方がやりたい様やれば良いと思います。ただし、かかわりたくないのに無理やりさせようとするのは、やめてほしいと思います。
- 自治会により地区の団結をする

Q 1 3. 地域の課題（地域高齢者対策、防犯灯整備、子どもの見守りなど）はどのように解決すべきと考えますか

地域課題の解決は、3地区ともに「地域と行政が協力して行うべき」と回答した人が最も多くなっています。今後、地域課題を解決していく上では、地域だけでなく、また行政だけでなく、地域と行政が協働してまちづくりを行うことが求められています。

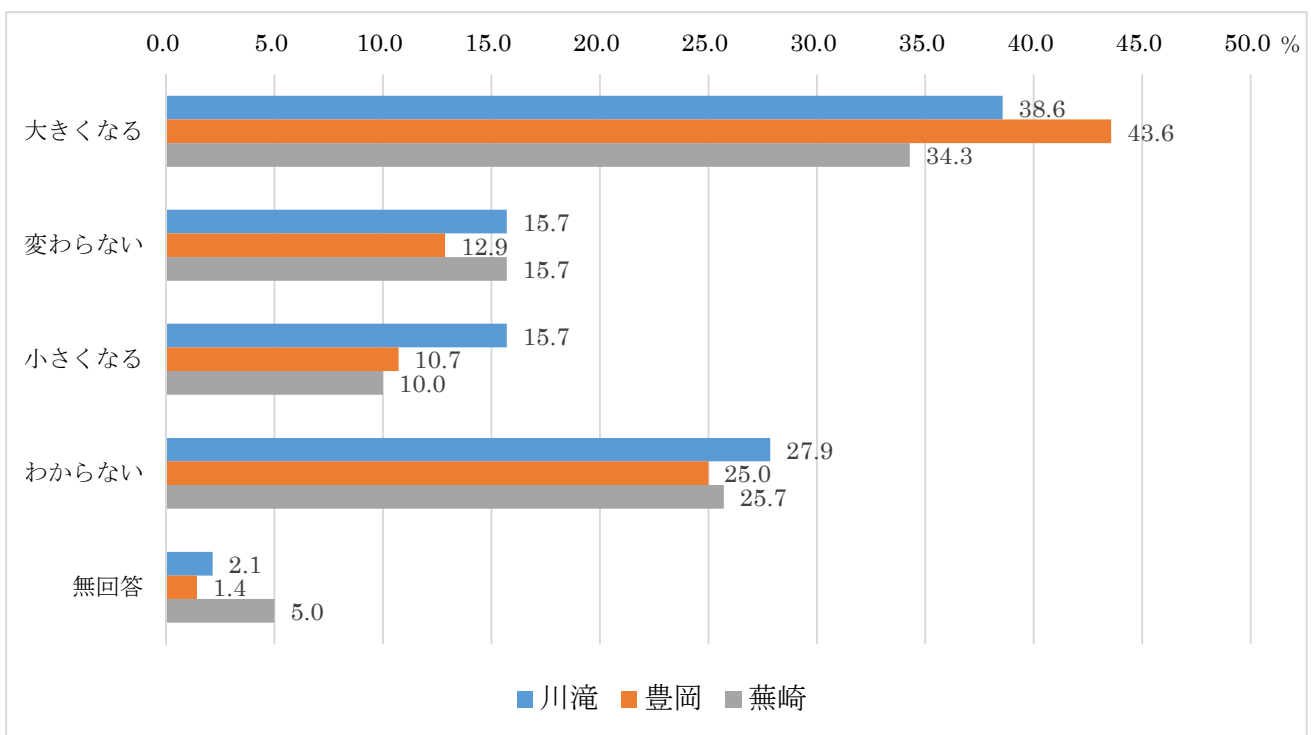
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
可能な限り地域住民で行うべき	14	13	19	46
市役所等の行政が行うべき	11	6	10	27
地域と行政が協力して行うべき	104	102	87	293
わからない	7	7	8	22
無回答	4	3	3	10
合計	140	131	127	398



Q14. 今後、少子高齢化が進展する中で地域のコミュニティが担う役割についてどう思いますか

今後の地域コミュニティの役割について、各地区ともに「大きくなる」との回答が一番多くなっていますが、その次に「わからない」との回答が多くなっています。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
大きくなる	54	61	48	163
変わらない	22	18	22	62
小さくなる	22	15	14	51
わからない	39	35	36	110
無回答	3	2	7	12
合計	140	131	127	398



Q. アンケートについてのご意見や、今後地域コミュニティ活性化事業に望むことがあれば、お書きください

川滝地区における主な意見

- 川滝地区は今後やはり若い人達が減り高齢化が深刻になっていくと思う。行政等の力をかりて高齢者の負担を軽くしていかないといけないと思う。福祉（デイサービスの施設をつくる等）関係は急ぐ。
- 公民館を中心に地域を活性化する為に、館長以下各種団体が頑張っている。現役の役員も高齢になり次の世代を担う人材の確保が必要な時期にきていると思う。
- これからの少子高齢化に向けて地域の絆がより一層必要となると思います。ただ平日や夜などの集会だと参加しにくいので休日や子供も一緒に参加できると助かります。これからも宜しくお願いします。
- 高齢世帯が多く、若者の地域コミュニティに参加してくれないのが大きな問題です。若い人が地域に残り住みやすい町にしないといけないと思います。
- 以前あった近所のコミュニケーションが、色々な面でもっとあったらいいな。
- 地区によって防災に取り組む姿勢が違うので、できるだけ統一できるようになればいいかなと思う。でも各地区の人数、年齢によるものもあると思いますけど、市の協力もあって実行できたらと思います。
- 地域の行事等、色々な活動に参加してみたいが、自分の体が充分でなく病院等に通院リハビリをしている身では思うように参加できないのが現状。
- 10年後、20年後の川滝地区を思う時、地域のつながりはとても大切だと思います。健康で意欲的な老後が送れるよう、アイデアを出し合い取り組んでほしいです。事業に参加していないので、あまり言えませんが、家々にお花があるのは、とってもいいと思います。
- Q12は、どれも大事な活動だと思います。私はあまり参加できていないので、まずは参加できるようにしようと思います。
- 買い物に行くのに便利が悪い。
- 世代がつながっていない。子供たち・中高生世代・青年世代（独身）・0～6歳の子を持つ世代・婦人会・老人クラブ等、団体の活動はしっかりしているが団体の枠を越える活動や、誰がいるのかわからない。特に青年（40歳以上の独身世代含む）世代をなんとかしないと活性化はないように思う。
- 国道192号線（特に川滝地区）は、交通事故が頻繁に起きています。住民、子供達の安全を守るためにも一層の道路整備を国や県に働きかけてください。
- 昨年の花いっぱい運動でいただいたビオラが、あちこちの家で咲き乱れています。年を取ると花が一番です。ありがとうございました。
- まわりは年寄りばかり。若者がいても全く関心がない様子。年寄りグループホーム等デイサービスを生きがいと、家族もデイへ行ってくれることを望んでいる。60代～70代の我々はデイサービスを受けるのには早過ぎるし、まして一人暮らしとなれば人生をどのように楽しみ過ごして行けばいいのか、さっぱりわからない。教えて下さい。

- 友達に「川滝ってコンビニどの辺？」って聞かれたことがあります。「ある訳ないじゃん（笑）」って答えたら、みんな真顔で驚いていました。地域イベントもコミュニティが活性化すると思うけど、買い物ができる場所（移動販売でも）がもしできれば、そこでコミュニケーションが出来るかなあと。利益として難しいと思うけど。
- 花いっぱい事業に関しては、各家庭へ花を植えたプランターを配布してもらったのですが、生活していて川滝地域の花いっぱい感は感じられませんでした。個々の力は小さいので、ある程度集めて存在感を出したほうがいいと思いました。その辺のところも住民集会でやっとならばよかったと思います。
- 交通事故の後遺症のため思うように歩けなくて参加できません。回覧板を回すのも大変です。回覧板はいらないと思います。僻地だから。ポストもないのに。
- 高齢者の交通、生活物資の不便など課題となっている。
- 活性化事業・・・詳しい事はわかりませんが、出来る事はお手伝いさせていただきますし、アンケートも答えさせていただきます。川滝地区は公民館活動、その他も住民の方達が協力し、勢いのある地域だと思います。最近、ご近所付き合いも少なく、自治会も無いという地区も有るようで驚きました。プライバシーの事も有り、子育て支援、高齢者支援も深入りし過ぎるのもどうかと思う時もあります。地域の皆様で協力し安全で楽しく、きれいな町づくり頑張りましょう。（皆で植えたプランターのビオラの花も春が近づき、株が張り、どんどん可愛くなってきています）
- 花いっぱい運動で、きれいなビオラが咲いて、楽しんでます。ありがとうございました。
- 自治会の中でも、それぞれ役付けをしたらいいと思う。今のところは五人組の組長が動いているから、子育て支援とか高齢者支援グループとか、防災でも各組で、又それぞれ役付けしていけばもっと確立したものになるのではないかと思う。
- 結果を期待せず、コツコツ活動していくしかないと思います。
- 私達の地域は自治会に入っていません。高齢化、又個人の価値観もあり、今後地域コミュニティ活性化事業を望んでも難しいと思います。
- 年々、高齢化が進む一方、子供の数が減っていく中、自治会の行事などが縮小したり、やめていく事が多くなっているように思う。
- 人と人のつながりを大切にしてほしい
- 川滝はコミュニティ活動が良く出来ていると思います。高齢になり余り活動が出来ませんが身に合う活動にこれからも参加させていただきます。

豊岡地区における主な意見

- 豊岡町は海水浴場もあり、豊受山もあり、とても自然豊かな所なので地域の力で交流しながら守っていける活動があればと思います。きれいな街づくりも必要だと思い、犬のフンを持ち帰らない飼い主はなんとかして欲しい。海だけでなく横の道などにも看板を立てる（子供から募集した絵など）ビラを子供たちに配ってもらうなど。条例になった事あまり知られてないと思います！！
- 現在、子育て中、仕事もしているため今以上の活動や協力は負担が大きいです。できる限りの協力はしたいと思っておりますが、学校行事や役員の仕事、自治会の活動などで精一杯というのが現状です。
- 子育てと介護で地域コミュニティ活性化事業のことまで考えがいかないです。
- 同じ人が参加して連絡も相談もない。コミュニティは、あんまりいらない。
- コミュニティの金高い。なんでそんなにいるのか？市役所の方から出してもらいたい。無職の人もいるだろうに、毎月の集金も厳しい。
- 豊岡に住んで1年ほどしか経ってなく、一人で住んでいるし、ほとんど地域の方との交流もなく、このような事業があったことも知りませんでした。でも自分のできることがあれば、していきたいです。まずは地域の方々と挨拶から始めていきたいと思っています。
- 豊岡地区は買い物をする場所もなく、とても不便。これから確実に高齢者が増え、車の運転ができなくなる人が多くなると思うので、車なしでも行ける店を作ってほしい。
- 小学生になると地区での関わりができ、自分の住む地域の事がわかってきましたが、それ以外では、隣の住人の事も全然分からなかった。同じ地区でも子供の外出は親が送り迎えになってしまうので、もう少し安心して外で遊べる環境や場所があれば。
- コミュニティ活性化が周知されていないと思う。独身にとっては、父母にまかせっきりで、同世代（同級生）も県外へ行き、なかなか交流ができていなくて、仕事上、県外出張も多く地元にいる時間が少ない。参加したいが時間が合わない。父母も言っていました、地域の交流は減ったと。私たちが個人情報と言いすぎるのかもしれない。力が入りすぎず何か長く続ける事業が出来ればいいです。
- 築5年以内の賃貸アパートに住んでいるが、企業などの広告やチラシが配られていても市の広報誌が配られておらず、市や地域に関する情報を全然知らないのが現状です。四国中央市出身ではない分、もっと地域のことを知り、万が一の時のために備えたいと思います。まず同じアパートの住民の繋がりが必要なようにも感じます。
- 子供が少なくなって地域での行事も子供達や保護者への負担が多くなってきていると思うので、保護者の負担が少なくなるように行政の方で考えてほしい。でも地域の行事は大切に、これからも続けてほしいです。
- 若い世代がもっと参加すべき。
- 高齢化が進むなか、近くに公共交通機関がない為、将来不安である。
- 私は五良野自治会に加入していますが、今のところ特に不満はありません。自治会等のお知らせも、しっかりといただいております。地域の関わりも踏み込みすぎということもなく、良い距離を保っていただいていると思います。

- 事業には主人と子供が参加しました。地域住民同士の交流になり、町がきれいになり、子供もイベントなどをとても喜んだようでした。機会があれば私も参加したいと思います。
- 「状況」と「目的」を見定める事で「方法」が明確になると思います。この事業の「目的」は、はっきりしていると思うので「状況」の把握の為に徹底した住民ヒアリングが必要だと思います。豊岡全員会議、豊岡100人会議、豊岡フォーラムなど、少々大袈裟なくらいのヒアリングの場をつくり、活動への参加意欲をかきたて、参加意識を刺激する下準備が必要かと思います。H27年度活動大変ごくろう様でした。ありがとうございます。
- 一部の人が集まってやっても効果が出ないので、自治会単位の所まで十分なPRと方向付けをはっきりしてほしい。活性化とは、今のやり方では、とても言えない。
- 代々その地域に住んでいる人達の中ではコミュニティが出来、役割を果たしているのかも知れないが、新しく出来たアパート等に住む世帯には自治会に入ってもないし、動きも全く分からない。新しく来た世帯には特に若夫婦や子育て世帯も多いと思うので、この人達を地域コミュニティに上手く取り込んでいくことが大事なのではないかと思う。
- 以前にも似たようなアンケート（無作為に抽出）が私の所に届きました。本当に無作為なのか疑わしい。
- 普段、中学生とよく関わっています。子どもたち多数の日記から「海岸清掃」に行つて楽しかった。豚汁が美味しかった」とありました。どうやら、こどもたちは「食」に集まる傾向があるようです。「食」を通して地産地消や異年齢間の交流なども進めていくことができるのではと思いました。
- 海岸清掃に参加したのですが、子供達も頑張っている中で役員の方なのか5～6人（男性）腕組みされ、ずっと話をされていたのが腹立たしかったです。今後参加はしたくありません。
- 色々な活動に参加したいと思うが、子供が未就園児の場合、なかなか難しいです・
- 地域コミュニティ活性化事業については把握していませんでしたが、海岸清掃&交流イベントには参加でき、とてもよかったです。お世話人の方が、かなり大変だなという印象がありましたが、子供たちと一緒に参加できる活動、イベントがあればよいと思います。
- 居住年数の若い人達が自然に、その地域に馴染める様な事業を行ってほしい。新参者たちを受け入れる地域作りに取り組んで欲しい。
- 罪のない犬猫を殺すのをやめてくれんか？それも人の税金を使って殺すのをやめてほしい。持ち込んだ奴の税金だけ使ってくれ。そんなに殺したいんやったら。それと愛媛県知事の給料高すぎ。税金だろ？
- 一つの団体では出来る事は限りがありますが、まとまれば大きい事が出来ます。他に無関心な人の参加を促す事も大切だと思います。
- 地域にボランティアという形での負担となると、人数も減っていくのでしんどくなっていくと思う。
- 交流イベント等の活動も大切であるが、まずは豊岡町の住民に対する地域コミュニ

ティの大切さの啓発をしなければいけないと思う。頼れる親族が身近にいない高齢者が増える一方で他人と余計な関わりを持たない考えの人が増え、地域の見守り力の低下につながっていると感じる。

- 子供が小学校、中学校に行っていた時は、よく参加していましたが卒業したら私も卒業したように行かなくなりました。参加した方が良いと思っていても、なかなか参加できてないのが現実です。
- 昨年より書道教室に通っています（豊岡公民館）。公民館に行くと、いろいろ催しがあり楽しそうですね。
- 子供が保育園に行くまでの小さい時に、子育て支援で三島乳児園・体育館・図書館などを利用させてもらって、とても助かりました。地域の公民館などを開放してもらえたら身近な知り合いが出来て、子供どうしのつながりも就学前に出来ていいなと思います。
- 各自治会を通じて公民館や地域の組織の内容を市民の方々に知ってもらいたいと思います。あまりにも公民館等の立場を理解できていない方が多すぎると思います。公民館⇔自治会⇔市民の関係を知らない人も沢山おられます。
- 特定の人が参加する事業にならない様に、声を掛け合っていないといけないと思います。初めて参加する人が、参加しやすい環境であること。
- 地域コミュニティ活性化事業の集会は上にも書いたように同世代の人がいると参加しやすいなと思いました。

蕪崎地区における主な意見

- 交通安全、地震対策、命の安全、田畑や川や道の整備の安全。
- 県立病院、住友病院程度の病院が土居にも必要です。市長さん、三島病院の復活をお願いします。
- 昔あった地域コミュニティ運動会などで子供とふれ合う事業があれば良いと思う。
- 地域コミュニティ活性化事業については恥ずかしながら存知上げませんでした。海岸清掃のイベントが今までとは違っていたので蕪崎が盛り上がっているなとうれしく思いました。市でこのような事業に取り組んで頂き住民としては大変有り難いと感じる次第です。ただ行政に任せるのではなく、自分達の力で地域のつながりを作っていかななくてはならないと考えています。行政よりそのようなきっかけを与えて頂けることに感謝いたします。
- 聴覚障害者です。耳が聞こえませんので、ご了承ください。
- 活性化事業のお知らせは文書であったかも知れないのですが、日々の生活に追われ流してしまっていたのかも知れません。早めにチェックしていれば参加できるものはできたかも。～しますという情報が弱いように思います。
- 高齢者が多くなるので地域の人達で見守り等ができないか？
- 今後も自治活動の大事さは変わらない。6部落の自治会による一括した活動を中心にしたコミュニティ作りを進歩させるべきで公民館の存在感は薄れるものであること。自治活動を盛り上げるのであれば、公民館活動は廃止すべきである。
- 少子高齢化が進み、地域の交流も少なくなり大変さびしく思います。
- 子育てに積極的になれるような地域にしてほしい。金銭面での支援を増やしてほしい。もっと有効的に使えるのではないか。
- 環境問題、ゴミの分別の多様化、リサイクルを増やす。プラの分別。四国中央市全体で改善していく。愛媛県犬猫殺処分ゼロに取り組む。地域猫「さくらねこ」避妊し、地域での野良猫を増やさない取り組み。空き部屋対策、広い土地でドッグランをつくる。他の地域から集客し活性化する。松山市まで行かないとない。四国中央市の公園は犬の散歩禁止多すぎて、どこへも行けない。まんのう公園のようなものを作ってほしい。老人独り暮らしの方の見守り。毎朝玄関に旗を出して合図する。近所で助け合う。除草剤をした時は旗を立てるなど目印をつける。年末の寄附が多いので何回かに分けてほしい。ご検討よろしくお願い致します。
- 活動ありがとうございました。今後共、できる範囲で協力させていただきます。
- 単発的な活動にならず、次回の計画又は予定をはっきりさせること
- 最近は、ともすると家庭に閉じこもりやすく、特に寒い冬などは、隣同士だけでなく、地域一般の人、小中学生時代の友だちとめぐり合い、語り合い、昔のことを思い出し懐かしく語り合うことが大切。そのために必要と思う。
- 現在、蕪崎地区には自主防災組織が出来ている自治会が4つあります。昨年実施された①②の取り組み、また炊き出し体験などは市と自主防災組織（燧灘防災会）とも協力して行う方がよいのではないのでしょうか。コミュニティだけの取り組みでは、だめだと思えます。
- 高齢社会になり地域の年寄の病院通いは大変です。なぜ三島病院は消えたのです

か？原因は何ですか？復帰早くお願いします。土居地区は大変です。三島・川之江・新居浜ですよ。タクシー代大変です。市長さんよろしく。回答お願いします。

- 参加される方の顔ぶれがいつも一緒と同じです。表に出てこない方々をどう参加してもらうかが、とても大事だと思います。多様化する生活の中でニーズをひろいあげていくのか、あくまでも地域の中を重視するのか、行政と十分協力しつつ問題をあげていくべきです。
- 活動の基本的な事についての情報が知らされていない。どの様な方法で住民に伝達されているのか？もっともっと多くの住民が意見交換のために参加できるようにすべきではないのか。コミュニティで協議された結果集のまとめられたものが当初の計画通り住民に配布、知らされているのかどうか？
- 今回のアンケートで初めて活性化事業が行われていることを知った。残念。自治会が機能していない。自主防災組織と機能活用が大切に思う。
- 防犯灯は整備されていますが、防犯カメラが付いているのでしょうか？中学生は暗くなって帰っているのを見ると、とても心配です。
- 特定の方のコミュニティ活動のように感じる。参加していない人にも問題はありますが、初めての人でも参加できるような場を設けてほしい。参加したくても、知人も少なく参加を見合わせている人も多いと思う。
- 超高齢者なので何かあっても参加できない。
- 住民の意識と行政の思い・考えにズレや差がある。ただでさえ蕪崎公民館の活動は他の地域に比較して活動が低調である（公民館報などが発行されていないので活動が不明）コミュニティ以前に、公民館活動の立て直しを考えてもらいたい。
- 公民館中心の自治会 活動
- 仕事をしているのでPTA や愛護班などの活動の負担を減らしてほしいです。
- 行政がすべきことを地域住民に肩代わりさせることのないように。地域の自主的な活動を尊重すべきである。
- 地区コミュニティ協議会が結成されていることを知ったので今後はできるだけ参加したい。
- 住民集会については知らなかったので参加できませんでした。広報などにチラシをはさむなどして伝えて下されば参加する人も増えるのではと思います。また、公民館からの放送も聞こえない所なので、もし放送などで知らせて下さっても聞こえない場所の方々は、参加できにくいと思います。
- 今、子供が少ないので地域で子育て支援をして安全で安心して子育てを出来るよう高齢者と共に支援活動をしていきたいと思います。
- 地域コミュニティ活性化事業とはよいことだと思いますが、少子化を対策しなければ意味がない。住みにくい、近所のかかわりが面倒臭い等、元いる住民は考えることはあると思います。少子化の原因の1つには、戻ってこないという事実があると思います。やるべき順番が違うと思いますが？
- 参加しなかった人の今回のプリント（報告）をし、次回の誘いを積極的に行うべきだと思う。
- 難しい問題です。

- 公民館報も一度も出されず事業の内容もみえてこない。自治会長から個人的に参加要請があつて参加しているが地域住民には浸透していません。今回アンケートについていた参考資料で概要がつかめました。「事業の主役である地域住民」には、ほとんど知らされていません。せっかくのモデル地区なのに十分活用されないのはとても残念です。「災害に備えた炊き出し」は、せっかく地域に防災組織があるのに、当日のことで質問しても何も知らされず、時間も内容もわからずじまいでした。結果的に掃除活動だけして帰りました。
- 自治会活動は公民館と一体となり、よく活動してくれていると思います。然し数年前から一度も館報が発刊されていないために、今回のようなコミュニティ活動など周知は薄れていた（私が十分なことを知らなかったのも）のは残念だったと思います。私もですが、大半の住民が館報の発刊を心から待っていると思います。
- 地区に自治会が有る以上、今後も変わらないと思う。2. 昭和61年より7月末の日曜日に老人会と子供の3世代交流をしています。最初は中学生も出席していましたが現在は、老人会とお母さんと小学生、保育園児となっています。なお予算は、自治会各戸より、1000円集金させてもらっています。
- 自治会に加入していないし、アパートの為、広報もないので地域の事がわかりません。
- 地域コミュニティ活性化モデル事業のモデル地区に選定されていることを知りませんでした。市報の中に花いっぱい運動と、海岸の清掃とかはパンフレットを見て知りましたが、誰からも話は聞きませんし、時間もなく身体の調子も悪く参加できませんでした。でも、こういう行事をすることは、地区の人達との交流ができ、知り合いもできて良いことだと思います。私は子供さんに会ったりした時は声かけをするようにしています。良い成果がでるといいですね。
- 市の職員がまず先頭に立つて行こう。いろいろなクッションにたよってばかりではないですか。
- 蕪崎地区に公園があれば、子どもたちとお年寄りとのコミュニケーションがとりやすくなるのでは？
- 親と同居している（30代・女性・未婚）であるが、このような活動が行われている事を知らなかった。晩婚化も進んでいるので、もっと活動自体の啓発運動も必要なのではないか。子供もおらず、高齢者でもない私達の役目とは何か。

